

学生募集要項



2025

令和7年4月入学

【一般入試】（2次）

【社会人入試】（2次）

【外国人留学生入試】（2次）

大学院 人文社会芸術総合研究科 人文社会芸術総合専攻（修士課程）

- 心理学プログラム
- 人文・芸術プログラム
- 共創経済プログラム

令和6年11月

富山大学

不測の事態により、試験日程等本学生募集要項の内容を変更する場合があります。変更する必要がある場合は、本学ウェブサイトでお知らせいたしますので、最新の情報を確認するよう留意してください。

<https://www.u-toyama.ac.jp>

目 次

I 大学院人文社会芸術総合研究科（修士課程）入試の概要	1
II 心理学プログラム	3
1. 一般入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格	
2. 社会人入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格	
3. 外国人留学生入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格及び出願要件	
4. 選抜方法	
5. 試験日程等	
6. 出願書類等	
III 人文・芸術プログラム	7
1. 一般入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格	
2. 社会人入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格	
3. 外国人留学生入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格及び出願要件	
4. 選抜方法	
1) 筆記試験	
2) 口述試験	
5. 試験日程等	
6. 出願書類等	
IV 共創経済プログラム	12
1. 一般入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格	
2. 選抜方法	
3. 試験日程等	
4. 出願書類等	

V 共通事項	15
1. 出願期間及び出願方法	
2. 出願資格の事前審査 ※該当者のみ	
3. 出願手続	
4. 受験票及び受験上の注意事項の印刷	
5. 合格者発表	
6. 入学手続	
7. 注意事項	
8. 志願者の個人情報保護について	
9. 安全保障輸出管理について	

VI 大学院人文社会芸術総合研究科（修士課程）の概要	25
1. 大学院人文社会芸術総合研究科の特長	
2. 課程の修了，学位の授与	
3. 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例措置について	
4. 長期履修制度について	
5. 人文社会芸術総合研究科研究指導担当教員一覧	

【添付書類】

1. 志願理由書
2. 研究計画書
3. 履歴書（外国籍を有する者のみ）
4. 提出作品・論文・ポートフォリオ証明書
（人文・芸術プログラム芸術文化学系志願者のみ）
5. 出願資格認定審査申請書（該当者のみ）
6. 検定料返還請求書（該当者のみ：出願書類ではありません）

I 大学院人文社会芸術総合研究科（修士課程）入試の概要

募集人員

専攻	プログラム名	募集人員				
人文社会芸術総合専攻	心理学プログラム	5名				
	人文・芸術プログラム	15名 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1次</td><td>8名</td></tr><tr><td>2次</td><td>7名</td></tr></table>	1次	8名	2次	7名
	1次	8名				
	2次	7名				
共創経済プログラム	18名					
合計	38名					

※ 募集人員には、推薦入試，外国人留学生特別入試（指定校推薦）の募集人員を含みます。また，1次・2次を合わせた募集人員となります。

入学試験関係日程

事項	2次
出願資格審査 照会期限 (該当者のみ)	令和6（2024）年11月27日（水）
出願資格審査 結果通知	令和6（2024）年12月9日（月）
出願期間	令和6（2024）年12月16日（月） ～ 20日（金）
受験票等発行日 (予定)	令和7（2025）年1月14日（火）
試験日	令和7（2025）年2月10日（月）
合格者発表	令和7（2025）年2月21日（金）
入学手続 (締切日)	令和7（2025）年3月7日（金） (予定)

人文社会芸術総合研究科入学者受入方針

本研究科は、人文科学、社会科学、芸術文化学についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、文化、社会の発展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。

1) 心理学プログラム

心理学についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、文化の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。

2) 人文・芸術プログラム

人文科学・芸術文化学についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、文化の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。

3) 共創経済プログラム

社会科学についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、社会の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。

II 心理学プログラム

1. 一般入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	募集人員
人文社会芸術総合専攻	心理学プログラム	若干名

※ 募集人員には、社会人入試、外国人留学生入試の募集人員を含みます。

2) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和7（2025）年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和7（2025）年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7（2025）年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7（2025）年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7（2025）年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7（2025）年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和7（2025）年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科が認めたもの
- (10) 令和7（2025）年3月31日で大学に3年以上在学した者、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者
- (11) 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって、次の二つの条件を満たし、かつ本研究科において、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの
 - a. 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね1年以上研究に従事した者及び令和7（2025）年3月31日までにおおむね1年以上研究に従事する見込みの者
 - b. 令和7（2025）年3月31日までに22歳に達する者
- (12) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7（2025）年3月31日までに22歳に達するもの

※ 出願資格（9）・（10）・（11）・（12）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「V 共通事項 2. 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

2. 社会人入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	募集人員
人文社会芸術総合専攻	心理学プログラム	若干名

2) 出願資格

令和7（2025）年3月31日までに、原則として大学卒業後3年以上の社会人の経験を有し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- （1）日本の大学を卒業した者
- （2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- （5）文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- （6）本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7（2025）年3月31日までに25歳に達するもの

※ 出願資格（6）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「V 共通事項 2. 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

3. 外国人留学生入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	募集人員
人文社会芸術総合専攻	心理学プログラム	若干名

2) 出願資格及び出願要件

外国人留学生入試に出願できる者は、一般入試の出願資格（1）から（12）のいずれかに該当する者で、かつ、次のa, b, cを満たすものとします。

- a 日本国籍を有しない者
- b 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる見込みの者
- c 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）N1の認定を受けた者

※ 出願資格（9）・（10）・（11）・（12）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「V 共通事項 2. 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び提出された書類を総合して行います。

(1) 筆記試験

心理学に関する筆記試験を行います。なお、英語に関する内容が含まれる場合があります。

(2) 口述試験

心理学に関する口頭試問、志願理由書及び研究計画書に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。

5. 試験日程等

試験日	時間	科目等	試験場
令和7(2025)年 2月10日(月)	9:00	受付	富山大学 五福キャンパス 人文学部
	10:00~12:00	筆記試験	
	13:00~	口述試験	

6. 出願書類等

出願書類等	摘要
① 入学志願票	インターネット出願サイトから A4 サイズでカラー印刷してください。 検定料支払後に印刷が可能となります。 インターネット出願サイト https://e-apply.jp/ds/toyama-gs/
② 学業成績証明書	出身大学長又は学部長が作成し厳封したもの。ただし、偽造・複写防止用紙使用の場合は厳封不要です。
③ 卒業(見込)証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。なお、本学学部卒業見込出身者は提出する必要はありません。 外国人留学生でやむを得ず提出できない場合は必ず卒業証書本紙を事前に受付窓口呈示し、卒業証書の写しを提出してください。
④ 入学検定料 (30,000円)	入学検定料は、「V 共通事項 3. 出願手続」に従って、インターネット出願サイトから支払手続を行ってください。 入学検定料の支払方法は、日本国内の場合は、コンビニエンスストア、クレジットカード、ネットバンキング、ペイジー対応郵便局・銀行 ATM のいずれかとなります。日本国外の場合は、クレジットカードでお支払いください。 注意事項 ・入学検定料のほか、支払いにかかる手数料が別途必要です。
⑤ 志願理由書および研究計画書	本学所定の用紙による。
⑥ 学位授与証明書または学位授与申請(予定)証明書	【出願資格(2)に該当する者のみ提出】 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行するもの、もしくは短期大学長または高等専門学校長が発行する学位授与申請(予定)証明書。
⑦ 履歴書	【外国籍を有する者のみ提出】 本学所定の用紙による。
⑧ 住民票の写し	【日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出】 居住している市・区・町・村長の発行のもの(在留資格が明示されているもの)。

⑨	日本語能力試験 N1 の成績通知書等	【外国人留学生入試出願者のみ提出】 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）N1 の成績通知書（写しでも可）を提出してください。
⑩	誓約書	インターネット出願サイトから A4 サイズで印刷してください。 本要項の「V 共通事項 9. 安全保障輸出管理について」及び誓約書の内容を確認し、出願者本人が自署の上、必ず提出してください。

○ 提出書類のうち、②，③，⑤，⑦について、外国語で記載されたものは、日本語訳を添付してください。

Ⅲ 人文・芸術プログラム

1. 一般入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	区分	募集人員
人文社会芸術総合専攻	人文・芸術プログラム	人文科学系	(2次)
		芸術文化学系	7名

※ 募集人員には、社会人入試、外国人留学生入試、外国人留学生特別入試（指定校推薦）の募集人員を含みます。

2) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和7（2025）年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和7（2025）年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7（2025）年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7（2025）年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7（2025）年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7（2025）年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和7（2025）年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科が認めたもの
- (10) 令和7（2025）年3月31日で大学に3年以上在学した者、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者
- (11) 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって、次の二つの条件を満たし、かつ本研究科において、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの
 - a. 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね1年以上研究に従事した者及び令和7（2025）年3月31日までにおおむね1年以上研究に従事する見込みの者
 - b. 令和7（2025）年3月31日までに22歳に達するもの
- (12) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7（2025）年3月31日までに22歳に達するもの

※ 出願資格（9）・（10）・（11）・（12）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「V 共通事項 2. 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

2. 社会人入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	区分	募集人員
人文社会芸術総合専攻	人文・芸術プログラム	人文科学系 ----- 芸術文化学系	若干名

2) 出願資格

令和7（2025）年3月31日までに、原則として大学卒業後3年以上の社会人の経験を有し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7（2025）年3月31日までに25歳に達するもの

※ 出願資格（6）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「V 共通事項 2. 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

3. 外国人留学生入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	区分	募集人員
人文社会芸術総合専攻	人文・芸術プログラム	人文科学系 ----- 芸術文化学系	若干名

2) 出願資格及び出願要件

外国人留学生入試に出願できる者は、一般入試の出願資格（1）から（12）のいずれかに該当する者で、かつ、次のa, bを満たすものとします。ただし、人文科学系志願者は、a, bに加え、cを満たすことを条件とします。

- a 日本国籍を有しない者
- b 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる見込みの者
- c 【人文科学系志願者のみ】公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）N1の認定を受けた者

※ 出願資格（9）・（10）・（11）・（12）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「V 共通事項 2. 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び提出された書類を総合して行います。

1) 筆記試験

(1) **人文科学系**を志望する場合の筆記試験は、志望研究領域に関する筆記試験を行います。なお、英語又は希望する研究領域に応じた外国語に関する内容が含まれる場合があります。各研究領域における試験内容は以下のとおりです。

	研究領域	試験内容
人文科学系	哲学・人間学	哲学・倫理思想・宗教思想に関する選択問題。
	歴史文化	歴史学全般に関する知識および志望研究分野（日本史学・東洋史学・西洋史学・考古学）の専門的知識を問う。
	言語学	言語学および音声学に関する知識を問う。
	社会学	基礎用語および研究方法に関する理解を問う。
	人文地理学	さまざまな地図や統計データを適切に読み取り論述する能力、地理学に関する専門用語についての基礎的知識を問う。
	文化人類学	文化人類学の基礎的知識およびフィールドワークの技能を問う。
	スポーツ人類学	スポーツ人類学に関する基礎的知識を問う。
	日本言語文化	志望研究分野（日本語学・日本文学）の専門的知識を問う。 （「日本語学」もしくは「日本文学」のいずれかを選択。）
	朝鮮言語文化	朝鮮語学・朝鮮文学の知識を問う。
	中国言語文化	中国語学・中国文学に関する知識を問う。
	英語学	英語力および英語学の知識を問う。
	イギリス言語文化	英語の読解力、およびイギリス文学・文化に関する知識を問う。
	アメリカ言語文化	英語の読解力、およびアメリカ文学・文化に関する知識を問う。
	ドイツ言語文化	ドイツ語力を見る問題のほかに、ドイツ語学・ドイツ文学に関する知識を問う。
	フランス言語文化	フランス語の総合的な理解力、およびフランス文学・文化の知識を問う。
ロシア言語文化	ロシア語の総合的な理解力、およびロシア文学・文化の知識を問う。	

(2) **芸術文化学系**を志望する場合の筆記試験は、小論文を行います。

芸術文化学系	小論文
--------	-----

2) 口述試験

(1) **人文科学系**を志望する場合の口述試験
研究領域に関する口頭試問、志願理由書及び研究計画書に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。

(2) **芸術文化学系**を志望する場合の口述試験
志願理由書及び研究計画書に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。

5. 試験日程等

試験日	学系	時間	科目等	試験場
令和7(2025)年 2月10日(月)	人文科学系	9:00~	受付	富山大学 五福キャンパス 人文学部
		10:00~12:00	筆記試験 (専門科目)	
		13:00~	口述試験	
	芸術文化学系	8:45~	受付	富山大学 高岡キャンパス 芸術文化学部
		9:30~11:00	筆記試験 (小論文)	
		11:30~	口述試験	

6. 出願書類等

出願書類等	摘要
① 入学志願票	インターネット出願サイトから A4 サイズでカラー印刷してください。 検定料支払後に印刷が可能となります。 インターネット出願サイト https://e-apply.jp/ds/toyama-gs/
② 学業成績証明書	出身大学長又は学部長が作成し厳封したもの。ただし、偽造・複写防止用紙使用の場合は厳封不要です。
③ 卒業(見込)証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。なお、本学学部卒業見込出身者は提出する必要はありません。 外国人留学生でやむを得ず提出できない場合は必ず卒業証書本紙を事前に受付窓口へ呈示し、卒業証書の写しを提出してください。
④ 入学検定料 (30,000円)	入学検定料は、「V 共通事項 3. 出願手続」に従って、インターネット出願サイトから支払手続を行ってください。 入学検定料の支払方法は、日本国内の場合は、コンビニエンスストア、クレジットカード、ネットバンキング、ペイジー対応郵便局・銀行 ATM のいずれかとなります。日本国外の場合は、クレジットカードでお支払いください。 注意事項 ・入学検定料のほか、支払いにかかる手数料が別途必要です。
⑤ 志願理由書および研究計画書	本学所定の用紙による。
⑥ 学位授与証明書または学位授与申請(予定)証明書	【出願資格(2)に該当する者のみ提出】 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行するもの、もしくは短期大学長または高等専門学校長が発行する学位授与申請(予定)証明書。
⑦ 論文又はポートフォリオ ^注	【芸術文化学系志願者のみ提出】 論文(卒業論文やその草稿、著作など)又はポートフォリオ(作品・研究などをまとめたファイル)を1部提出してください。なお、論文については、その概要も提出してください。提出の際は「提出作品・論文・ポートフォリオ証明書-添付用」(本学所定の用紙)を論文又はポートフォリオに貼り付け、あわせて「提出作品・論文・ポートフォリオ証明書-申告用」(本学所定の用紙)を提出してください。なお、ポートフォリオは A3 (見開き A2) 以内とします。

⑧	履歴書	【外国籍を有する者のみ提出】 本学所定の用紙による。
⑨	住民票の写し	【日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出】 居住している市・区・町・村長の発行のもの（在留資格が明示されているもの）。
⑩	日本語能力試験又は日本留学試験（日本語）の成績通知書等	【人文科学系志願者・外国人留学生入試出願者のみ提出】 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）N1の成績通知書（写しでも可）を提出してください。 【芸術文化系志願者・外国人留学生入試出願者のみ提出】 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験の成績通知書等又は独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（日本語）の成績通知書等（写しでも可）を提出してください。
⑪	誓約書	インターネット出願サイトからA4サイズで印刷してください。本要項の「V 共通事項 9. 安全保障輸出管理について」及び誓約書の内容を確認し、出願者本人が自署の上、必ず提出してください。

○出願書類のうち、②，③，⑤，⑦，⑧について、外国語で記載されたものは、日本語訳を添付してください。

注 ポートフォリオ提出者のうち、作品の提出を希望する者は、試験当日に持参し、受付を行ってください。作品は、口述試験の際に試験室内へ持ち込むことが可能です。以下に従って提出してください。

- ① 作品には、「提出作品・論文・ポートフォリオ証明書－添付用」（本学所定の用紙）を貼っておいてください。貼っていない場合は受け付けることができません。
- ② 「提出作品・論文・ポートフォリオ証明書－申告用」（本学所定の用紙）を受付に提出してください。
- ③ 作品は、1点のみ提出することができます。なお、作品は受験者本人が独力で持ち込み可能なものとします。
（作品の大きさ等の目安）
 - ・平面：30号以内
 - ・立体：およそ0.2立方メートル以内
 - ・映像：3分以内にまとめたもの。
（機材については各自再生可能なパソコン等を持参してください。）

出願の際に提出した論文及びポートフォリオについても、口述試験の際に試験室へ持ち込むことが可能です。なお、提出した論文、ポートフォリオ、作品については、試験当日に返却します。

IV 共創経済プログラム

1. 一般入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	募集人員
人文社会芸術総合専攻	共創経済プログラム	10名

※ 募集人員には、推薦入試、外国人留学生特別入試（指定校推薦）の募集人員を含みます。なお、一般入試では、社会人、外国人留学生も併せて募集します。

2) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和7（2025）年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和7（2025）年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7（2025）年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7（2025）年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7（2025）年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7（2025）年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和7（2025）年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科が認めたもの
- (10) 令和7（2025）年3月31日で大学に3年以上在学した者、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者
- (11) 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって、次の二つの条件を満たし、かつ本研究科において、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの
 - a. 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね1年以上研究に従事した者及び令和7（2025）年3月31日までにおおむね1年以上研究に従事する見込みの者
 - b. 令和7（2025）年3月31日までに22歳に達する者
- (12) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7（2025）年3月31日までに22歳に達するもの

※ 出願資格（9）・（10）・（11）・（12）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「V 共通事項 2. 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

2. 選抜方法

入学者の選抜は、口述試験（プレゼンテーションを含む）を行います。
口述試験では志願理由書及び研究計画書等に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。プレゼンテーションは、志望理由、これまでの研究成果（研究レポート、卒業論文等に基づくもの）及び入学後の研究計画について、プレゼンテーション資料を用いて8分以内で行っていただきます。

3. 試験日程等

試験日	時間	科目等	試験場
令和7（2025）年 2月10日（月）	13：15	集合	富山大学 五福キャンパス 経済学部
	13：30～	口述試験	

4. 出願書類等

出願書類等	摘要
① 入学志願票	インターネット出願サイトから A4 サイズでカラー印刷してください。 検定料支払後に印刷が可能となります。 インターネット出願サイト https://e-apply.jp/ds/toyama-gs/
② 学業成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。
③ 卒業（見込）証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。なお、本学学部卒業見込出身者は提出する必要はありません。 外国人留学生でやむを得ず提出できない場合は必ず卒業証書本紙を事前に受付窓口に表示し、卒業証書の写しを提出してください。
④ 入学検定料 (30,000 円)	入学検定料は、「V 共通事項 3. 出願手続」に従って、インターネット出願サイトから支払手続を行ってください。 入学検定料の支払方法は、日本国内の場合は、コンビニエンスストア、クレジットカード、ネットバンキング、ペイジー対応郵便局・銀行 ATM のいずれかとなります。日本国外の場合は、クレジットカードでお支払いください。 注意事項 ・入学検定料のほか、支払いにかかる手数料が別途必要です。
⑤ 志願理由書および研究計画書	本学所定の用紙による。志願理由書については、手書きで作成すること。
⑥ 学位授与証明書または学位授与申請（予定）証明書	【出願資格（2）に該当する者のみ提出】 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行するもの、もしくは短期大学長または高等専門学校長が発行する学位授与申請（予定）証明書。
⑦ プレゼンテーション資料（3部）	プレゼンテーション8分以内の資料をマイクロソフト社のパワーポイントを用いて作成し、スライド2枚1ページでカラー印刷したもの。 また、試験当日は投影資料として、パワーポイント及びPDF形式のファイルをUSBメモリに保管し持参すること。出願時に提出した資料からの変更は認めない。

⑧	業績報告書	【業績を有する者のみ提出】 卒業論文，研究調査報告書等の業績を有する者は，その概要をまとめて提出してください。
⑨	履歴書	【外国籍を有する者のみ提出】 本学所定の用紙による。
⑩	住民票の写し	【日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出】 居住している市・区・町・村長の発行のもの（在留資格が明示されているもの）。
⑪	日本語能力試験 N1 又は日本留学試験 （日本語）の成績通知書等	【外国籍を有する者のみ提出】 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）N1 の成績通知書等又は独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（日本語）の成績通知書等（写しでも可）を提出してください。 ただし，これらの成績通知書を提出できない場合は，提出できない理由を出願前に申し出てください。
⑫	誓約書	インターネット出願サイトから A4 サイズで印刷してください。 本要項の「V 共通事項 9. 安全保障輸出管理について」及び誓約書の内容を確認し，出願者本人が自署の上，必ず提出してください。

- 提出書類のうち，②，③，⑤，⑦，⑧，⑨について，外国語で記載されたものは，日本語訳を添付してください。
- プレゼンテーション資料について，マイクロソフト社のパワーポイントを用いて作成することが困難な場合は，事前に経済学部（入試担当）まで申し出てください。

V 共通事項

1. 出願期間及び出願方法

試験区分		出願期間
心理学プログラム	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試	令和6（2024）年12月16日（月） ～ 20日（金）16時まで
人文・芸術プログラム	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試	
共創経済プログラム	一般入試	

志願者は、出願書類を取りそろえ、上記の出願期間内に書留速達郵便（国外から郵送する場合は、EMS等追跡可能な手段）で郵送してください。なお、本学所定の用紙は、富山大学ウェブサイトからダウンロードするものとし、配付はしませんので注意してください。

原則、出願は郵送とし、上記期間までに必着とします。やむを得ず持参する場合は、9時から16時まで受け付けます（土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません）。期限後の提出は受理しません。ただし、令和6（2024）年12月19日（木）以前の消印（日本国内の郵便の消印に限る。）のある書留速達郵便に限り、出願期限以降に到着した場合でも受理します。

出願書類提出先

プログラム名	照会・提出先		
心理学プログラム	富山大学人文学部 （入試担当）	076-445-6138	五福キャンパス 〒930-8555 富山市五福 3190
人文・芸術プログラム （人文科学系）			
人文・芸術プログラム （芸術文化学系）	富山大学芸術文化学部 （入試担当）	0766-25-9130	高岡キャンパス 〒933-8588 高岡市二上町 180
共創経済プログラム	富山大学経済学部 （入試担当）	076-445-6410	五福キャンパス 〒930-8555 富山市五福 3190

2. 出願資格の事前審査 ※該当者のみ

一般入試（外国人留学生入試を含む）の出願資格（9）・（10）・（11）・（12）、社会人入試の出願資格（6）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、上記出願書類提出先に照会のうえ、期日までに所定の書類を提出してください。

(1) 出願資格審査に必要とする書類

- 一般入試（外国人留学生入試を含む）の出願資格（9）,（10）の該当者について
 - ①出願資格認定審査申請書（本学所定の用紙）
 - ②学業成績証明書
 - ③出願者の所属する学科等の教育課程表
 - ④在学証明書, 在籍期間証明書又は卒業証明書
 - ⑤住民票の写し（日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出）
 - ⑥履歴書（様式任意, ただし外国籍を有する者は, 本学所定の用紙）
 - ⑦長形3号の返信用封筒（410円分の切手を貼付し, あて名, 郵便番号を明記したもの）

- 一般入試（外国人留学生入試を含む）の出願資格(11)の該当者について
 - ①出願資格認定審査申請書（本学所定の用紙）
 - ②卒業証明書
 - ③学業成績証明書
 - ④研究生, 研究員等として従事したことを証明する書類
 - ⑤住民票の写し（日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出）
 - ⑥履歴書（様式任意, ただし外国籍を有する者は, 本学所定の用紙）
 - ⑦長形3号の返信用封筒（410円分の切手を貼付し, あて名, 郵便番号を明記したもの）

- 一般入試（外国人留学生入試を含む）の出願資格(12), 社会人入試の出願資格(6)の該当者について
 - ①出願資格認定審査申請書（本学所定の用紙）
 - ②短期大学, 高等専門学校, 専修学校, 各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者は卒業（修了）証明書及び学業成績証明書
 - ③業績報告書
卒業論文, 研究調査報告書等の業績を有する者, あるいは実務経験や海外での活動経験等を有する者は, その概要をまとめて提出してください。
 - ④住民票の写し（日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出）
 - ⑤履歴書（様式任意, ただし外国籍を有する者は, 本学所定の用紙）
 - ⑥長形3号の返信用封筒（410円分の切手を貼付し, あて名, 郵便番号を明記したもの）

※ 各証明書は, 原本を提出してください。写しが提出された場合は受理しません。外国語で記載されたものについては, 日本語訳を添付してください。

(2) 書類提出期限

令和6（2024）年11月27日（水）16時まで
原則, 出願は郵送とし, 上記期間までに必着とします。
やむを得ず持参する場合は, 平日の9時から16時まで受け付けます。
期限後の提出は受理しません。

(3) 審査結果の通知

事前審査の結果は, 令和6（2024）年12月9日（月）までに本人宛に通知書を発送します。

3. 出願手続き

出願はインターネット出願のみとします。出願手続は、インターネット出願サイトでの出願登録及び検定料の支払いを行った後、出願期間内に必要な書類等を書留速達郵便で郵送することにより完了します。以下の「インターネット出願の流れ」をよく読み、手続きを行ってください。

インターネット出願の流れ



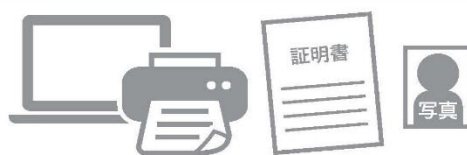
事前準備

21 ページを参照してください。

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。

必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…各種証明書、写真など



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/toyama-gs/>

または、

大学ウェブサイト

<https://www.u-toyama.ac.jp/>

からアクセス



出願はインターネット出願サイトでの登録完了後(STEP2)、検定料を支払い(STEP3)、必要書類を印刷・郵送(STEP4、STEP5)して完了となります。登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願書類は出願期間最終日16時必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

1

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP2に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた「初期パスワード」にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。

⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※已済受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP 2 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ

②入試選択と留意事項の確認

③志望研究科等の選択

④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。

⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力

⑥出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。

⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。

⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード

⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

出願受付番号
メモ(12桁)

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合	ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合
払込票番号 メモ(13桁)	お客様番号 メモ(11桁)
	確認番号 メモ(6桁)
デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合	収納機関番号 (5桁) 58021 ※収納機関番号は、ペイジーで お支払いの際に必要となります。
オンライン決済 番号メモ(11桁)	

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

! 申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、修正が可能です。
※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

3

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願登録内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

ウェブで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

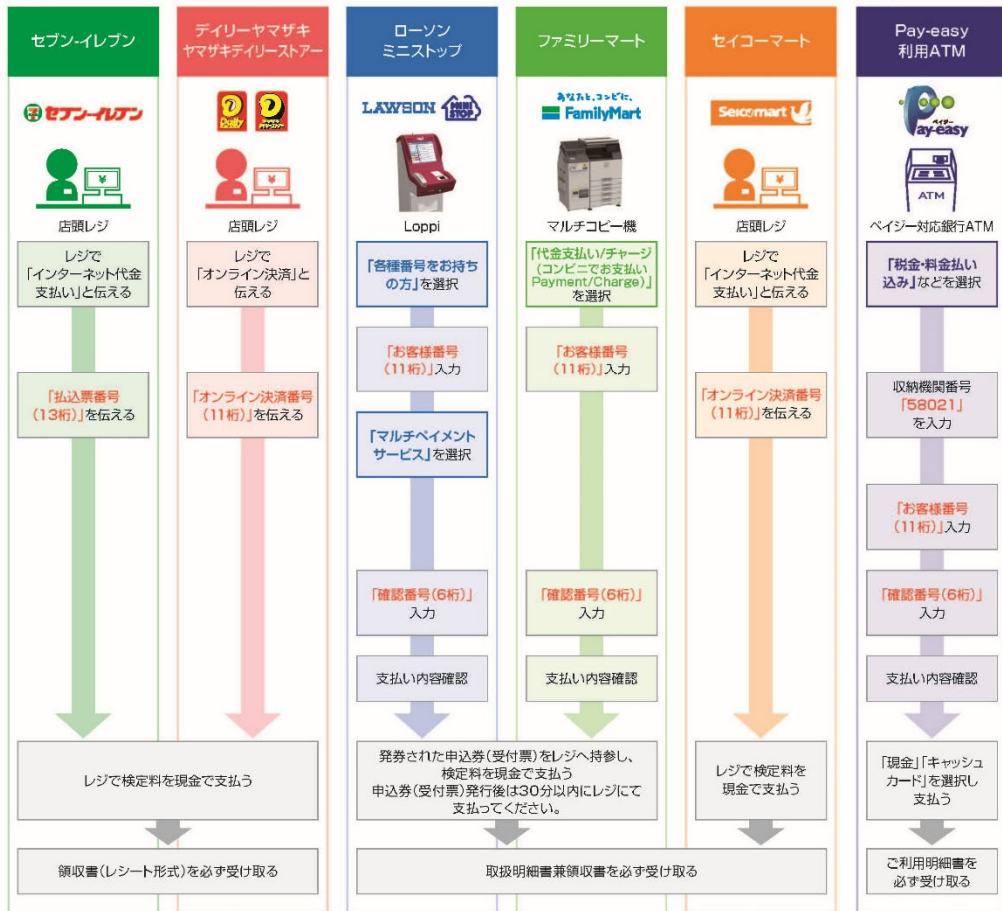
出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



4 銀行ATM

STEP**4****必要書類の印刷**

「出願内容の確認／志願票の印刷」ボタンからログインし、
志願票等必要書類を**A4用紙にカラー印刷**
してください。

志願票PDF(イメージ)

**STEP****5****出願書類の郵送**

登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願に必要な書類を出願期間内に郵便局窓口から**「書留速達郵便」**で郵送してください。

■出願書類

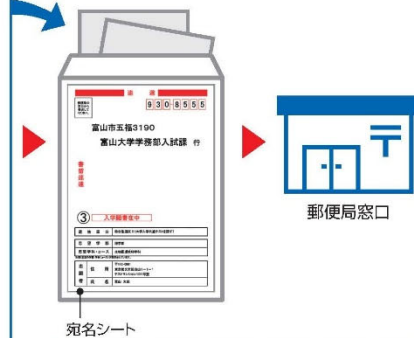
1回の出願登録につき各1部必要です。

出願に必要な書類は、本学生募集要項の下記ページを参照して準備してください。

心理学プログラム：5～6ページ
 人文・芸術プログラム：10～11ページ
 共創経済プログラム：13～14ページ

<出願書類到着期限>

令和6年12月20日(金)16時必着
 ※ただし、12月19日消印有効



出願書類の郵送先は宛名シートに
自動で印字されます。

宛名シートを市販の角形2号封筒(240mm
×332mm)に貼り付けてください。

※一旦受理した検定料・出願書類は、募集要項で明記している理由によるものを除き一切返却しません。

<出願完了>

※受理についての電話等による問い合わせには一切応じません。

STEP**6****受験票の印刷**

22ページを参照してください。

受験票等発行日以降に、インターネット出願サイトから受験票が印刷
できるようになります。「受験票の印刷」ボタンからログインし、印刷して
ください。

受験票は必ず**A4用紙にカラー印刷**して、試験当日に持参してください。



事前準備

書類等	摘 要
パソコンの利用環境	<p>PC 利用時推奨ブラウザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 最新版 <p>※ ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行いますと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がございます。複数タブでの同時申込操作はお控えください。</p> <p>前画面へ戻る場合はブラウザの「戻る」ボタンは利用せず、画面内に表示されている「戻る」ボタンをご利用ください。</p> <p>スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ・OS</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iOS 12 以上 ・ Android OS 8 以上 ・ iPadOS 13 以上 <p>※ 各 OS の標準ブラウザが推奨環境となります。</p> <p>※ お使いのブラウザで表示が崩れることがございましたら、他のブラウザにてご確認ください。</p> <p>※ Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合がありますので、モバイル版をご利用ください。</p>
PDF 表示・印刷ソフトウェア	<p>入学志願票 (PDF) の表示・印刷にはアドビシステムズ社が配布している Adobe Acrobat Reader (無償) が必要です。</p>
メールアドレス	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。</p> <p>なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p>@e-apply.jp</p> <p>スマートフォン・携帯電話の通信会社から発行されるメールアドレスを登録される方は、各通信会社の迷惑メールフィルターの解除方法に従って、@e-apply.jp からのメールが届くように設定してください。</p>
本人写真	<p>出願にあたって顔写真データ (ファイル形式 (jpeg, jpg, png, bmp), 最大 10 MB まで) を用意してください。</p> <p>写真の大きさは縦 4 : 横 3 の比率を推奨します。</p> <p>写真は本人確認に使用します。</p> <p>出願前 3 ヶ月以内に撮影した正面, 上半身, 無帽, 背景なしの写真データ (カラー) を用意してください。</p> <p>【使用できない写真の例】</p> <p>不鮮明 (ぼやけている, 影がある), 無背景でない (背景に風景が写っている, 背景に模様がある), 化粧や前髪が目にかかるなど本人確認が困難, 写真に加工を施している, 現像された写真を再撮影しているなど</p>

プリンター	入学志願票及び受験票（PDF）を出力するため、A4 普通紙に印刷することができるカラープリンターが必要です。 印刷用紙（普通紙・PPC 用紙・OA 共通用紙・コピー用紙等）とともに用意してください。
角 2 封筒	入学志願票等の出願書類を郵送するため、市販の角形 2 号封筒（240 mm × 332 mm）を用意してください。入学志願票を印刷した際に出力される「宛名シート」を封筒に貼り付けて使用してください。

4. 受験票及び受験上の注意事項の印刷

- (1) 受験票は、志願者が郵送した出願書類を本学が受理した後、受験票等発行日以降に、インターネット出願サイト上で印刷ができるようになります。なお、受験票の印刷が可能になりましたら、インターネット出願時に登録した志願者のメールアドレスへ通知します。
受験票等発行日（注）令和 7（2025）年 1 月 14 日（火） 15 時（予定）
（注）受験票等発行日は予定のため、変更になる可能性があります。
- (2) インターネット出願サイトの「ログイン」からマイページにログインします。ログインするためには【メールアドレス・ご自身で設定したパスワード】が必要になります。
- (3) ログイン後、受験票をダウンロードしてください。受験票は、A4 用紙にカラー印刷して、必ず試験当日に持参してください。なお、受験票と一緒に受験上の注意事項が印刷されます。必ず事前に熟読してください。

注意事項

- (1) 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、入試に関する問い合わせ先（各学部入試担当）へ速やかに連絡してください。
また、パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が、一致していることを必ず確認してください。
- (2) メールが届かない場合でも、インターネット出願サイトにログインして受験票、受験上の注意事項を印刷してください。
- (3) インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は受付番号での受験はできませんので、必ず受験票を持参してください。
- (4) 試験当日に、スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参し、試験終了後も大切に保管してください。

5. 合格者発表

以下の日時に合格者の受験番号を富山大学ウェブサイトに掲載するとともに本人に合格通知書を郵送します。

なお、電話その他による問い合わせには一切応じません。

発表日時 令和 7（2025）年 2 月 21 日（金） 15 時

6. 入学手続

入学手続は次のとおり行いますが、詳細は合格者に通知します。

- (1) 入学手続
令和 7（2025）年 3 月 7 日（金）（予定）
- (2) 入学手続時に要する経費
 - ア 入学料 282,000 円（予定額）
上記の入学料は予定額であり、入学時に入学料を改定した場合は、新たな入学料を適用します。
また、納付された入学料は返還しません。
入学を辞退する場合は、必ず書面（任意様式）で手続をしてください。

- イ その他
 学生教育研究災害傷害保険等の経費が別途必要です。
- (3) 入学手続期間内に手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。
- (4) 授業料の納付について
 入学後（前期分は5月、後期分は11月）にそれぞれ口座振替により納付することとします。
 納付金額・納付方法等の詳細については、入学手続時に通知します。
 〈参考〉令和6（2024）年度授業料 年額 535,800円
- (5) 入学料、授業料とも、以下の条件を満たす者には、選考の上、全額または半額の免除を認める制度があります。
- ① 経済的理由により納付が困難ながら、学業優秀と認められる者
 - ② 学資負担者が死亡するか、風水害等の特別の事情により納付が著しく困難であると認められる者
- (6) 奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、日本学生支援機構等から奨学金が貸与されます。

7. 注意事項

- (1) 受験の際は、必ず受験票を携帯してください。
- (2) 試験当日は、それぞれの集合時刻までに各会場に集合し、受付をしてください。
- (3) 出願手続き後の志願票等記載事項の変更は一切認めません。また、出願書類は、返却する旨を明示している場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (4) 一旦、受領した検定料は、次の場合を除き、返還しません。
- ① 検定料を払い込んだが富山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合 《返還額》 30,000円
 - ② 検定料を二重に払い込んだ場合 《返還額》 30,000円
 - ③ 検定料を多く払い込んだ場合 《返還額》 多く払い込んだ額
- ただし、返還時の振込手数料は、受取人負担とします。
- ※返還請求の方法
 別添の「検定料返還請求書」に必要事項を記入し、本学へ郵送してください。
 「送付先：〒930 - 8555 富山市五福 3190 富山大学財務施設部経理第一課
 電話 076-445-6053」
- (5) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (6) 障害等（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、怪我、発達障害等）があつて、受験上及び修学上特別な配慮を希望する入学志願者は、出願に先立ち、各学部（入試担当）へ事前相談を行ってください。
 なお、必要に応じて、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。
 ※事前相談の申請を行った場合でも、本学への出願が義務付けられるわけではありません。
- ①相談期限 令和6（2024）年11月27日（水）16時まで
 - ②相談方法
 本学ウェブサイトから事前相談申請書をダウンロードするか、下記事項を記載した申請書を作成し、医師の診断書（写しでも可）等を添え、各学部（入試担当）へ提出してください。
 - ・ 氏名・性別・生年月日・住所・電話番号・メールアドレス
 - ・ 志望のプログラム・受験する入試区分
 - ・ 障害等の種類・程度
 - ・ 受験の際に特別な配慮を希望する事項
 - ・ 修学の際に特別な配慮を希望する事項
 - ・ 出身大学等でとられていた措置（担任教員の所見のある者）
 - ・ 日常生活の状況
 - ・ その他参考となる事項（相談する際の参考資料があれば、併せて提出してください。例：身体障害者手帳の写し等）
 （参考）事前相談申請書掲載ページ
 （本学トップページ）→「入試情報」→「障害等のある入学志願者の事前相談」
- (7) 志願者本人が作成する書類（志願理由書、論文など）において ChatGPT 等の生成系 AI を利用することは禁止します。

8. 志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 出願にあたって知り得た個人情報は、本学入学手続完了者についてのみ、入学後における①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務、④統計調査及び分析を行うために利用します。
- (3) 本学合格者についての受験番号、氏名及び住所に限り、関係団体である同窓会及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。なお、これらの団体からの連絡を希望しない場合は、各プログラム出願書類提出先まで、その旨を申し出てください。
- (4) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という）において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供しますが、守秘義務を遵守するよう指導します。

9. 安全保障輸出管理について

富山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供、貨物の輸出の観点から、安全保障輸出管理について、厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は、入学を許可できない場合や希望する教育が受けられない、希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、出願にあたっては注意してください。

なお、出願時に「安全保障輸出管理に関する誓約書」を提出していただきます。詳細については、本学ウェブサイトを参照してください。

【参考】「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」

URL <http://www3.u-toyama.ac.jp/soumu/kisoku/pdf/0110401.pdf>

VI 大学院人文社会芸術総合研究科（修士課程）の概要

1. 大学院人文社会芸術総合研究科の特長

本研究科は、「”人”と”地”の健康」をキーワードとして、人文科学、社会科学、芸術文化学における各分野の高度な専門性を究めるとともに、領域を横断した複眼的視野を備えることにより、新たな価値、文化、社会を創ることができる人材を養成することを目的として、以下の3プログラムから構成されています。

- 心理学プログラム
- 人文・芸術プログラム
- 共創経済プログラム

2. 課程の修了，学位の授与

本研究科に2年以上在学して、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格した人には、以下の学位を授与します。

心理学プログラム：修士（心理学）

人文・芸術プログラム：修士（文学）、修士（芸術文化学）

共創経済プログラム：修士（経済学）、修士（経営学）

3. 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例措置について

大学院設置基準第14条では、「教育上特別の理由があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は期間において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる」旨が規定されています。

これを踏まえ、人文社会芸術総合研究科においては、本人の事情（所属先の勤務条件等）を考慮し、昼夜開講やその他の時間帯・時期等可能な範囲で相談に応じます。

4. 長期履修制度について

長期履修制度により計画的な履修ができます。本人からの入学時の申請に基づき、選考により、通常2年間の在学年数を3年間又は4年間に延長し、計画的に履修を行うことができます。この場合の授業料年額については、本来支払うべき授業料年額に標準修業年限（2年）を乗じて得た額を、長期履修期間の年数で除した額となります。

5. 人文社会芸術総合研究科研究指導担当教員一覧

心理学プログラム

氏名	専門分野
教授 喜田 裕子	臨床心理学, 心理臨床論, 統合的心理療法, 学校・保育臨床
教授 佐藤 徳	実験心理学, 知覚心理学, 意識, 自己, 行為と知覚, 身体
准教授 黒川 光流	社会心理学, 集団過程, 集団内葛藤, 対人コミュニケーション
准教授 坪見 博之	認知心理学, 意識, 注意, 記憶
准教授 西館 有沙	福祉心理学, 児童福祉, 社会的養護, 障害
講師 飯島 有哉	臨床心理学, 学校カウンセリング, 認知行動療法, 自殺予防
講師 近藤 龍彰	臨床心理学, 発達心理学, 発達臨床
講師 重松 潤	臨床心理学, 認知行動療法, ストレスマネジメント
講師 鈴木 拓朗	臨床心理学, 司法・犯罪心理学, 加害者臨床

人文・芸術プログラム 人文科学系

研究領域	氏名	専門分野
哲学・人間学	准教授 池田 真治	哲学, ライプニッツを中心とした近現代西洋哲学
	教授 田畑 真美	倫理学, 日本倫理思想史, 儒学・国学, 和辻倫理学
	講師 次田 瞬	分析哲学, 言語哲学, 心の哲学
歴史文化	教授 鈴木 景二	日本史 古代社会文化史, 立山信仰と北陸地域の歴史
	准教授 中村 只吾	日本史 日本史(近世史)
	講師 長村 祥知	日本史 中世政治史, 歴史叙述
	講師 林 美希	東洋史 隋唐時代の政治と軍事
	教授 青木 恭子	西洋史 ロシア近代史
	教授 徳橋 曜	西洋史 イタリア中・近世史
	准教授 入江 幸二	西洋史 西洋近世史, スウェーデン史
言語学	教授 高橋 浩二	考古学 日本考古学(弥生時代から古墳時代)
	教授 安藤 智子	ロシア語および日本語の音声・音韻的特徴

研究領域	氏名	専門分野
社会学	教授 佐藤 裕	社会学, 差別論, 社会調査法 (質問紙調査および統計解析), 社会学基礎論
	教授 伊藤 智樹	社会学, 社会学的自己論, 社会調査法 (フィールドワーク等)
	准教授 志賀 文哉	社会学, 社会福祉学, 社会調査法
人文地理学	教授 大西 宏治	人文地理学, 子どもの生活空間研究, まちづくり, 防災教育
	教授 山根 拓	人文地理学, 近代歴史地理学, 都市地域学
	准教授 鈴木 晃志郎	人文地理学, 行動地理学, 観光学, 地理情報科学
文化人類学	教授 藤本 武	文化人類学, 民俗学, 地域研究, 食と農, 祭礼
	准教授 野澤 豊一	文化人類学, 音楽, 芸能, 身体, コミュニケーション
スポーツ人類学	講師 田邊 元	スポーツ人類学, 民俗学, 武術研究
日本語文化	准教授 宮城 信	日本語学, 現代日本語の語彙論, 意味論, コーパス言語学, 児童の言語発達の研究
	講師 川島 拓馬	日本語学, 文法論・文法史
	教授 田村 俊介	日本文学, 『源氏物語』などの平安文学
	教授 西田谷 洋	日本文学, 近代文学
	准教授 田部 知季	日本文学, 近代文学, 明治期の俳句・俳誌
中国言語文化	教授 森賀 一恵	中国語学, 古代中国語を対象とした文献学
	教授 大野 圭介	中国文学, 先秦兩漢時代を中心とした古典文学
	教授 齊藤 大紀	中国文学, 1920・30年代を中心とした中国現代文学
朝鮮言語文化	准教授 上保 敏	朝鮮語学, 朝鮮語の形態論・統語論, およびその歴史の変遷
	教授 和田 とも美	朝鮮文学, 19世紀末から20世紀初頭の朝鮮文学
英語学	准教授 藤川 勝也	英語学, 意味論, 認知言語学, 機能的統語論
	講師 小池 晃次	英語学, 英語史, 統語論, 生成文法
イギリス言語文化	教授 恒川 正巳	イギリス文学, イアン・マキューアンを中心としたイギリス小説
	准教授 小田 夕香理	イギリス文学, ブロンテ姉妹を中心としたイギリス小説
	准教授 結城 史郎	イギリス文学, ジェイムズ・ジョイスと19-20世紀イギリス文学

研究領域	氏名	専門分野
アメリカ 言語文化	准教授 竹腰 佳誉子	アメリカ文学, 異文化コミュニケーション
	講師 秋田 万里子	アメリカ文学, ユダヤ系アメリカ文学
	講師 笠根 唯	アメリカ文学, 日米比較文化研究, Transnational Studies
ドイツ 言語文化	教授 黒田 廉	ドイツ語学, 現代ドイツ語学, 複合動詞の意味・統語
	准教授 阿部 美規	ドイツ語学, ドイツ語史, ドイツ語統語論の通時的研究
フランス 言語文化	教授 中島 淑恵	フランス文学, フランス近代詩, 比較文学
ロシア 言語文化	教授 武田 昭文	ロシア文学, 19・20世紀のロシア文学

人文・芸術プログラム 芸術文化学系

氏名	専門分野
教授 上原 雄史	建築意匠, 建築設計, アーバニズム
教授 内田 和美	プロダクトデザイン, トランスポートデザイン
教授 大氏 正嗣	建築構造デザイン, 建築設計, 公共施設数理的配置計画, 地域づくりコンテンツ, 歴史的組積造建築, 木材の新たな交叉接合等
教授 沖 和宏	視覚伝達デザイン
教授 奥 敬一	風景計画学, 観光資源論, 里山学
教授 河原 雅典	働態学, 人間工学, 工業デザイン
教授 島添 貴美子	民族音楽学, 民俗芸能研究, 伝統文化論
教授 長柄 毅一	文化財科学, 金属材料学, 金属材料加工学
教授 西島 治樹	美術 (メディアアート)
准教授 有田 行男	デザインマネジメント, コミュニケーションデザイン, プロダクトデザイン
准教授 伊東 多佳子	美学, 芸術哲学
准教授 今淵 純子	鍛金・彫金工芸
准教授 三宮 千佳	東洋美術史, 日本美術史 (古代～中世)
准教授 清水 克朗	美術鑄造, 伝統的的金属工芸技法, 古代鑄造技法
准教授 萩野 紀一郎	建築設計・保存・再生, インテリアデザイン
准教授 松田 愛	西洋美術史, 近現代美術論, アート・マネジメント
准教授 松村 浩之	油画
准教授 安嶋 是晴	文化政策論, 伝統産業論, 地域経営論
准教授 横山 天心	建築デザイン, 建築設計, リノベーションデザイン, まちづくり
准教授 渡邊 雅志	プロダクトデザイン, 木材造形
講師 岡本 知久	広告コミュニケーションデザイン, ブランディングデザイン, タイポグラフィデザイン, タイプ (フォント) デザイン, エディトリアルデザイン
講師 小川 太郎	漆芸
講師 長田 堅二郎	現代造形芸術, 現代美術, 立体造形
講師 平田 昌輝	彫刻, 塑造
講師 藪谷 祐介	コミュニティデザイン, 建築計画
講師 幸 亮太	日本画

共創経済プログラム 経済学系

氏名	専門分野
教授 青木 一益	政治学, 政策過程論, 公共政策学
教授 王 大鵬	アジア経済論, 中国経済論, 通商政策論
教授 小柳津 英知	地域経済学, 石油化学産業論
教授 唐渡 広志	都市経済学, 計量経済学
教授 神山 智美	環境法, 行政法
教授 高山 龍太郎	社会学
教授 中村 真由美	社会学
教授 本間 哲志	金融論, 計量経済学, 産業組織論
教授 モヴシュク オレクサンダー	計量経済学
教授 両角 良子	社会保障, 医療経済学, 労働経済学
准教授 井坂 友紀	経済史, 経済学史
准教授 大坂 洋	ミクロ経済学
准教授 松山 淳	政治経済学
准教授 矢島 桂	日本経済史
准教授 山田 潤司	マクロ経済学, 金融論
講師 塩見 一三男	地方計画・地域政策, 地域産業・地域経済, 官民連携・パークマネジメント

共創経済プログラム 経営学系

氏名	専門分野
教授 岩内 秀徳	国際経営論
教授 上東 正和	会計情報システム論, 管理会計論, 原価計算論
教授 香川 崇	民法
教授 岸本 壽生	多国籍企業論, 国際ビジネス論
教授 坂田 博美	消費者行動論
教授 竹地 潔	労働法
教授 橋口 賢一	民法 (主として, 債権法)
教授 馬 駿	組織と人材のマネジメント
教授 森口 毅彦	管理会計論
教授 柳原 佐智子	経営情報システム
教授 横山 一憲	オペレーションズ・リサーチ
准教授 神野 賢治	スポーツ社会学, スポーツ経営学, スポーツマネジメント論, スポーツまちづくり
准教授 櫻田 貴道	経営管理論, 経営組織論
准教授 眞部 典久	原価計算論, 管理会計論